

## 建築学科

## 建築施工実習 1

| 対象   | 2年次   | 開講期 | 前期 | 区分       | 選 | 種別 | 実習   | 時間数 | 60 | 単位 | 2 |  |
|------|-------|-----|----|----------|---|----|------|-----|----|----|---|--|
| 担当教員 | 久本晴一郎 |     |    | 実務<br>経験 | 有 | 職種 | 建築施工 |     |    |    |   |  |

## 授業概要

建築工事のプロセスや建築現場見学を通して、建築施工の技術を習得する。

## 到達目標

建築実施工体験を通して、建築工事のプロセスや建築施工管理の技術についての知識の習得のために次の3点を到達目標とする。  
 ①施工計画書を理解でき、作成方法が理解できる。  
 ②生産設計図を理解でき、作図方法が理解できる。  
 ③建築施工管理の流れを理解でき、管理手法が理解できる。

## 授業方法

実施工により、建物を築造する上で、施工管理者としての実務に則した内容で授業を開講する。基本的には建築五大管理の流れに則して、品質管理、工程管理、予算管理、安全管理、環境管理の項目についての管理を目指す。具体的には、現設計図の読み込みから、工程表を含めた施工計画書の作成、生産設計図の作成、KYK活動による安全管理業務を実務レベルで習得する。

## 成績評価方法

授業態度、平常点、提出物などを総合的に判断する。

## 履修上の注意

授業には集中して、安全を最優先して取り組み、指定された備品等は、毎回持参すること。特に作業着等の準備は不要だが、サンダル履きや動き辛い服装は、不可。又、授業時数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。

## 教科書教材

初学者の建築講座建築施工市ヶ谷出版社、必携建築資料実教出版株式会社、その他配付プリント

| 回数  | 授業計画          |
|-----|---------------|
| 第1回 | ガイダンス、安全教育    |
| 第2回 | Be-house制作実習① |
| 第3回 | Be-house制作実習② |

|        |               |
|--------|---------------|
| 第 4 回  | Be-house制作実習③ |
| 第 5 回  | Be-house制作実習④ |
| 第 6 回  | Be-house制作実習⑤ |
| 第 7 回  | Be-house制作実習⑥ |
| 第 8 回  | Be-house制作実習⑦ |
| 第 9 回  | Be-house制作実習⑧ |
| 第 10 回 | Be-house制作実習⑨ |
| 第 11 回 | Be-house制作実習⑩ |
| 第 12 回 | Be-house制作実習⑪ |
| 第 13 回 | Be-house制作実習⑫ |
| 第 14 回 | Be-house制作実習⑬ |
| 第 15 回 | 建築施工実習1総まとめ   |